

「中央区職員障害者活躍推進計画」に基づく取組の実施状況

1 目標の達成状況

(1) 採用に関する目標

【目標】令和7年度における障害者雇用率3.0%の達成

【法定雇用率】令和7年度 2.8%

| 年 度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------|-------|-------|
| 障害者雇用率 | 2.81% | 2.49% |

※各年度6月1日時点の数値

令和7年6月1日時点において、法定雇用率2.8%を下回っているところ
です。令和8年7月には、法定雇用率が3.0%に引き上げられることが決定
されているため、障害者雇用促進法の趣旨に則り、引き続き雇用率の向上に努
めていきます。

(2) 定着に関する目標

【目標】採用1年後の定着率100%の達成

| 年 度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----|-------|-------|
| 定着率 | 100% | 80% |

令和7年度は、障害のある職員を新たに5名採用し、1名が退職となりまし
た。

引き続き、個々の障害特性に配慮した職場環境づくりを通じて、不本意な離
職を極力生じさせないことを目指します。

(3) 職場環境や障害者理解に関する目標

【目標】毎年度、障害のある職員に対し、アンケート調査を実施し、下記の質問
項目について、前年度の割合を上回る。

質問項目①：今の職場は働きやすいと思いますか。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した職員の割合

| 年 度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------|-------|-------|
| そ う 思 う | 36.4% | 34.6% |
| どちらかといえばそう思う | 45.5% | 38.5% |
| 割合（合計） | 81.9% | 73.1% |

質問項目②：本区の障害者に関する理解は進んでいると思いますか。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した職員の割合

| 年 度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------|-------|-------|
| そ う 思 う | 18.2% | 16.1% |
| どちらかといえばそう思う | 36.4% | 35.5% |
| 割合（合計） | 54.6% | 51.6% |

引き続き、毎年度アンケート調査を実施し、上記の質問項目について、前年度の割合を上回ることを目標として、職場環境や障害者理解の向上に取り組みます。

2 令和7年度の主な取組状況

(1) 障害者の活躍を推進する体制整備

ア 障害者雇用推進者を中心とし、区長部局及び各行政委員会の関係管理職で構成された障害者活躍推進会議を開催し、令和6年度における取組状況の把握・点検等を行いました。

イ 令和7年度から職員課研修健康係に新たに福祉職を配置し、障害のある職員や配属先職場からの相談対応を行いました。

(2) 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

下記のとおり業務の選定等を行い、スムーズな就労移行と職場定着に努めた結果、採用者数増および配属先の拡大につながりました。

ア 新規採用職員については、「プロフィールシート（自己説明書）」を活用した採用前の面談及び職場配属後の面談により、配慮事項等を十分に確認しました。

イ 各所属に対して、採用前にあらかじめ業務の選定等を行いました。

(3) 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

ア 下記研修により合理的配慮への理解を促進しました。

(ア) 障害者差別解消法に関する研修

・新規採用職員向けに令和7年4月実施

(イ) 福祉体験研修

・希望者向けに令和7年10月実施

イ 障害のある職員に対する職場定着支援として、定着面談を開始しました。

ウ 「プロフィールシート（自己説明書）」を作成し、本人の同意を得た上で配属先に対して配慮事項の情報共有を行い、よりよい職場環境の構築

に努めました。

エ より多くの障害のある職員の意識や実態等を把握し、障害者が働きやすい職場環境を整備していくため、情報の取り扱いに十分配慮した上で、職員の障害者手帳等の取得状況について、確認を行いました。